

長野美術専門学校  
令和元年度事業報告書

学校法人クリエイティブA

## I 法人の概要

### 1 建学の精神

人間に生きる歓喜（よろこび）と希望をもたせ続けてきたのは音楽と美術の力である

### 2 理念体系

#### (1) 教育理念

創造性の育みを以って豊かな社会形成に資する

#### (2) 信条

クリエイティブこそ社会形成の要である

#### (3) 教育目的

創造性の育み

#### (4) 育成人間像

目的に対し自由な精神で立ち向かう主体性を持った人間

#### (5) 使命

学生への最良の通過点の提供

### 3 沿革

1946.04 村田美術研究所を長野市に開設

1953 村田絵画研究所を併設

1964 長野市北石堂町にアトリエを新設 ※ここまでが、個人立絵画教室

1970.10 長野県知事より私立村田美術学校認可※公認の各種学校

学校長に村田武次就任

設置学科 造形科 絵画コース（2年制）/デザインコース（2年制）

1976.04 専修学校文化教養専門課程認可※専修学校専門課程として認可を受ける

1978.04 長野市岡田町に校舎新築移転 長野市岡田町8-1-9

1978.09 長野美術専門学校に名称変更

1981.09 造形科にレタリング・写植コース（1年制）を設置

1988.03 造形科レタリング・写植コース（1年制）を廃止

1991.12 創立20周年記念事業

1995.10 学校法人村田学園認可※個人立から法人立へ、公の学校としての位置付けを強くする

初代法人理事長に村田武次就任

1997.09 長野市中御所1丁目10-10に新校舎新築移転

1998.04 学科構成等変更

造形科へ建築デザインコース（2年制）を設置

研究科（1年制）設置

- 1999.03 別館「蔵」の増設  
建築デザインコースは国家資格に係る学科であり、その設置条件を満たすための増設
- 2000.04 学校長に村田道子就任
- 2001.04 創立30周年記念事業
- 2002.03 学科構成等変更  
造形科建築デザインコース（2年制）を廃止、  
造形科デザインコース（2年制）、絵画コース（2年制）を統合し、造形科（2年制）とする。
- 2004.04 学校長に村田陽就任
- 2004.04 学科構成等変更  
研究科（1年制）を2年制に変更  
造形科をビジュアルデザインコース（2年制）、ビジュアルデザイン特修コース（2年制）に分ける。京都造形芸術大学通信教育部の併修制度を開始（特修コース）  
※特修コースは主に進学を考える学生のためのコースとして設置された。
- 2005.10 法人理事長に村田陽就任
- 2005.10 学校長に小林勝彦就任
- 2007.04 学科構成等変更  
造形科 ビジュアルデザインコース（2年制）及びビジュアルデザイン特修コース（2年制）2年次に映像授業開設
- 2007.04 学科構成等変更  
造形科 アート・コミュニケーション科（1年制）開設
- 2007.07 法人理事長に小林勝彦就任
- 2009.04 学科構成等変更  
造形科 ビジュアルデザインコース（2年制）及びビジュアルデザイン特修コース（2年制）にWebデザイン専攻・映像デザイン専攻を新設  
アート・コミュニケーション科に2年制コースを設置したため、アート・コミュニケーション科1年制コース・2年制コースとする
- 2010.04 学科構成等変更  
造形科 ビジュアルデザインコース（2年制）とビジュアルデザイン特修コース（2年制）を統合し、ビジュアルデザイン科（2年制）とする
- 2013.04 全学科単位制へ移行  
美専修学ラインの設定  
デザインライン／ドローイングライン／アートライン／映像ライン
- 2014.03 ビジュアルデザイン科2年制 職業実践専門課程認定  
実践的な職業教育を高い質で確保している学校として「職業実践専門課程」法制化初年度に認定される
- 2015.04 学科構成等変更  
ビジュアルデザイン科3年制を開設

- ビジュアルデザイン科はビジュアルデザイン科2年制に名称変更
- 2016.04 法人名称変更  
「学校法人村田学園」を「学校法人 クリエイティブ A」に変更  
C I (キャンパスアイデンティティ) の確立へ  
学科名称変更  
アート・コミュニケーション科1年制をビジュアルアート科1年制に変更  
アート・コミュニケーション科2年制をビジュアルアート科2年制に変更
- 2016.04 学科構成等変更  
美専修学ラインの充実を図る  
アニメキャラクターライン(新設) / デザインライン / イラストレーションライン(ライン名変更) / ファインアートライン(ライン名変更) / 映像ライン
- 2016.12 新キャンパス建設着工
- 2017.08 新キャンパス竣工
- 2019.04 研究科をプロジェクトデザイン工科へ名称変更
- 2019.07 サテライトキャンパス設置 長野県長野市中御所 森ビル新館1F
- 2020.03 ビジュアルデザイン科3年制 職業実践専門課程認定

#### 4 設置する学校

|      |              |       |                    |  |
|------|--------------|-------|--------------------|--|
| 学校名  | 長野美術専門学校     |       |                    |  |
| 設置者  | 学校法人クリエイティブA |       |                    |  |
| 郵便番号 | 380-0935     | 所在地   | 長野県長野市中御所1丁目10番10号 |  |
| 電話番号 | 026-227-3229 | FAX番号 | 026-227-3235       |  |

#### 5 設置する課程・学科・修業年限

| 課程                     | 学 科<br>(単位制)  | 修業<br>年限 | 卒業に必要な単<br>位数及び時間数 |      | 称号  |
|------------------------|---------------|----------|--------------------|------|-----|
| 文化教養専門課程<br>(職業実践専門課程) | ビジュアルデザイン科2年制 | 2年       | 62                 | 1700 | 専門士 |
| 文化教養専門課程<br>(職業実践専門課程) | ビジュアルデザイン科3年制 | 3年       | 93                 | 2550 | 専門士 |
| 文化教養専門課程               | ビジュアルアート科1年制  | 1年       | 31                 | 850  |     |
| 文化教養専門課程               | ビジュアルアート科2年制  | 2年       | 62                 | 1700 | 専門士 |
| 文化教養専門課程               | プロジェクトデザイン工科  | 2年       | 62                 | 1700 | 専門士 |

## 学科方針

### ビジュアルデザイン科2年制／3年制

視覚的なデザインワークを学ぶ

人間生活全般に渡る物事を、視覚情報のデザインによって新たに考案する能力の獲得を目指す

### ビジュアルアート科1年制／2年制

アートワークを学ぶ

美術表現による幅広い芸術作品を造形する能力の獲得を目指す

### プロジェクトデザイン工科

クリエイティブワークを追究する

クリエイティブワークを社会に向けて実践する能力の獲得を目指す

## 6 学科等の入学定員、収容定員、入学者数、在籍者数

| 課程                 | 学科（単位制）       | 定員  | 入学状況     |                |          | 4月<br>開始時 |
|--------------------|---------------|-----|----------|----------------|----------|-----------|
|                    |               |     | 入学<br>定員 | 入学<br>志願<br>者数 | 入学<br>者数 |           |
| 文化教養専門課程(職業実践専門課程) | ビジュアルデザイン科2年制 | 100 | 50       | 25             | 23       | 51        |
| 文化教養専門課程(職業実践専門課程) | ビジュアルデザイン科3年制 | 45  | 15       | 4              | 4        | 4         |
| 文化教養専門課程           | ビジュアルアート科1年制  | 5   | 5        | 0              | 0        | 0         |
| 文化教養専門課程           | ビジュアルアート科2年制  | 40  | 20       | 10             | 10       | 25        |
| 文化教養専門課程           | プロジェクトデザイン工科  | 20  | 10       | 0              | 0        | 0         |
| 合 計                |               | 210 | 100      | 39             | 37       | 80        |

(単位：人)

## 7 役員・評議員・教職員の概要

### (1) 役員概要

| 定数・人数・任期                           | 区分  | 職名  | 氏名    |             |
|------------------------------------|-----|-----|-------|-------------|
| 理事 定数6名<br>平成31年4月1日～<br>令和5年3月31日 | 第1号 | 理事長 | 小林 勝彦 | 長野美術専門学校甲校長 |
|                                    | 第2号 | 理事  | 松本 直樹 | 長野美術専門学校副校長 |
|                                    | 第3号 | 理事  | 松田 光平 | 市議会議員       |
|                                    | 第3号 | 理事  | 伊東 工  | 映像制作会社代表    |
|                                    | 第3号 | 理事  | 増澤 珠美 | イベント運営団体代表  |

|          |     |    |       |            |
|----------|-----|----|-------|------------|
|          | 第3号 | 理事 | 岡田智津子 | デザイン制作会社代表 |
| 監事 定数2名  |     | 監事 | 瀬下 良幸 | デザイン業自営    |
|          |     | 監事 | 西澤 和博 | デザイン制作会社役員 |
| 評議員定数13名 | 13名 |    |       |            |
| 顧問       | 2名  |    |       |            |

## (2) 教職員の概要

| 職名       | 本務・兼務の別 | 勤務体制 | 合計(名) |
|----------|---------|------|-------|
| 校長       | 本務      | 常勤   | 1     |
| 教員       | 本務      | 常勤   | 9     |
| 講師       | 兼務      | 非常勤  | 17    |
| 連携企業派遣講師 | 兼務      | 非常勤  | 3     |
| 職員       | 本務      | 常勤   | 1     |

## (3) 理事会・評議員会の開催状況

①令和元年度理事会の開催状況は以下のとおりです。

- 4月1日 臨時理事会
- 5月18日 定例理事会
- 1月11日 臨時理事会
- 3月21日 定例理事会

②令和元年度評議員会の開催状況は以下のとおりです。

- 4月1日 臨時評議員会
- 5月18日 定例評議員会
- 1月11日 臨時評議員会
- 3月21日 定例評議員会

## II 事業の概要

### 1 当該年度の事業の概要

本年度の事業計画のひとつ、教育内容の多様化方針によりデザイン系統の上位学科においての、造形性のみならず、商業性、工学性を有する科目設置の検討や教育課程の拡充・高度化を目指したものとして、ビジュアルデザイン科3年制学科の拡充・高度化をはかるため、設置科目の見直しをし、長期修学の特質を強めた。

尚、ビジュアルデザイン科3年制は令和2年3月付で職業実践専門課程に認定された。

ふたつめの計画による、社会人の学び直しの促進においては、上級学科の位置付けの研究科の名称をプロジェクトデザイン工科へと変更し、入学条件をこれまでの美術・デザイン系の高等教育機関卒業者

から、美術系に限らない高等教育機関卒業者、若しくは高等学校卒業後に就業経験のある者へと拡幅した。設置科目も基礎科目を大幅に増やしたことにより、基礎力の修得を可能とし、更には、プロジェクトデザインの名のもとに、クリエイティブ分野の社会学連携をプロジェクトとして進めていけるよう研究を深める科目等を新たに設置した。本年度プロジェクトデザイン工科への入学者はなかったが、この学科の存在意義を社会に示す目的で、本科に設置する科目を基にした社会人に向けた公開講座を開設した。プロジェクトデザイン工科の教育内容の周知により、学生確保を目指していきたい。

又、新校舎建設時に仮キャンパスとして使用していた建物の一部をサテライトキャンパスとして借り上げ、現行の教務機能や広報機能を補いつつ、新たな学種開発も視野に入れた構想の拠点とする。本校が既に持つ、授業内容・社会学連携活動・学生作品・卒業生の活躍等資産を、いかに広報できるかが重要であり、広報企画としての新たな人員の補強も完了し、広報活動への更なる効果が見込まれる見通しとなっている。

## 2 主な事業の目的・計画・計画の進捗状況

### (1) 教育課程

各学科の修業年限、卒業に必要な単位数及び時間数は下表のとおりです。

| 課 程                    | 学 科<br>(単位制)  | 修業<br>年限 | 卒業に必要な単<br>位数及び時間数 |      | 称号  |
|------------------------|---------------|----------|--------------------|------|-----|
| 文化教養専門課程<br>(職業実践専門課程) | ビジュアルデザイン科2年制 | 2年       | 62                 | 1700 | 専門士 |
| 文化教養専門課程<br>(職業実践専門課程) | ビジュアルデザイン科3年制 | 3年       | 93                 | 2550 | 専門士 |
| 文化教養専門課程               | ビジュアルアート科1年制  | 1年       | 31                 | 850  |     |
| 文化教養専門課程               | ビジュアルアート科2年制  | 2年       | 62                 | 1700 | 専門士 |
| 文化教養専門課程               | プロジェクトデザイン工科  | 2年       | 62                 | 1700 | 専門士 |

本校の教育課程は、クリエイティブ分野の5つの専門性を「デザイン」「映像」「イラストレーション」「ファインアート」「アニメキャラクター」に大別し、将来につながる学びの「ライン」として設定しています。

各「ライン」には、基礎を修得する「ベーシック」、オリジナリティを獲得する「パーソナル」、そして実践的な「プロフェッショナル」の3つのキャリアステージがそれぞれ設定されており、各ステージに応じて科目が構成されています。ビジュアルデザイン科には「デザイン」「映像」「イラストレーション」ラインが、ビジュアルアート科には「アニメキャラクター」「ファインアート」ラインの科目が、プロジェクトデザイン工科には「デザイン」「映像」「イラストレーション」ラインが主に配当されています。

又、年間の内4月～6月を「基礎履修期」/さまざまな専門分野基礎的な科目を履修することが

できる」、7月～10月をゼミ期／それぞれの専門性に特化したライン別のゼミを展開」、11月～3月を「総合制作期／年間の学びのまとめの期間、専門ラインごとの集大成となる制作に取り組み、年度末には総合制作展（美専展）で一般公開します」とし。総合制作を目指した学びの流れとしています。

前年度教育課程編成委員会で強化点としてあげられた、「研究科」と「ビジュアルデザイン科3年制」の学科振興については、まずは「研究科」の名称を「プロジェクトデザイン工科」へ変更し、就学対象者を拡幅し、上級学科として「更なる学び」や「学び直し」をすすめる方向性で進んだ。設置科目も基礎科目を大幅に増やしたことにより、基礎力の修得を可能とし、更には、プロジェクトデザインの名のもとに、クリエイティブ分野の社学連携をプロジェクトとして進めていけるよう研究を深める「プロジェクトデザイン研究」科目や「デザインエンジニアリング」科目を新たに設置した。又、プロジェクトデザイン工科に設置する科目を基に社会人向け公開講座を開講した。

「ビジュアルデザイン科3年制」においては、商業系科目「ビジネスナレッジ」の設置や「コピーライティング」科目の修得単位数増及び「描写」科目を体系づけて学ぶことにより基礎力の強化を図ることにより、長期修学の特質を強める方向性で進めた。

## (2) 連携学習

当年度の協定を交して行った企業等との連携学習は下表のとおりです。

| 科目名         | 学習内容・テーマ  | 連携先企業・団体<br>※敬称略 | 形態    | 実施日                      |
|-------------|---|------------------|-------|--------------------------|
| キャリアデザインA   | インターンシップ  | クリエイティブファクト株式会社  | 企業内研修 | 2019年<br>7月～8月           |
| キャリアデザインB   | インターンシップ  | 株式会社りんごの木        | 企業内研修 | 2019年<br>7月～8月           |
| インターンシップA・B | 現場・実務の学び  | 株式会社アドイシグロ       | 企業内研修 | 2019年<br>8月              |
| ムービーメイキング   | 科目担当授業  | 有限会社アドフォート・トリム   | 講師派遣  | 2019年<br>4月～6月<br>9月～11月 |
| 写真表現        | 媒体を利用した商品販売方法                                       | ダクセキ株式会社         | 講師派遣  | 2019年<br>5月23日           |
| 6次デザイン      | 科目担当授業  | 長野県デザイン振興協会      | 講師派遣  | 2019年<br>4月～6月           |
|             | 地域観光における媒体利用の実習(観光PRツール制作)道の駅などの広報ツール・商品パッケージデザイン制作 | 信濃町ふるさと振興協会      | 実習    |                          |



|                            |                          |                                   |       |                 |
|----------------------------|--------------------------|-----------------------------------|-------|-----------------|
| キャリアアップ実習                  | 長期インターンシップ               | 株式会社日本デザインセンター                    | 企業内研修 | 本年度研修者無し        |
| ライン別ゼミ                     | 人権啓発ポスターデザイン             | 長野県県民文化部人権・男女共同参画課                | 講師派遣  | 2019年<br>7月～10月 |
|                            | 人権学習(制作テーマ)              | 長野県県民文化部人権・男女共同参画課                | 講師派遣  |                 |
|                            | 道の駅しなのの広報ツール・商品パッケージデザイン | 信濃町ふるさと振興協会                       | 実習    |                 |
|                            |                          | 長野県デザイン振興協会                       | 講師派遣  |                 |
|                            |                          | 株式会社トドロキデザイン                      | 実習    |                 |
|                            | ながでんスイミングスクールバスラッピングデザイン | ながでんスイミングスクール若里                   | 実習    |                 |
|                            | アルミ缶回収事業 VI デザイン         | 社会福祉法人稲田会<br>デイセンターYUI・ワークセンターYUI | 実習    |                 |
| 善光寺表参道イルミネーションノベルティバッグデザイン | 長野市                      | 実習                                |       |                 |
| 映像表現                       | 科目担当授業                   | 株式会社ズズザウルス                        | 講師派遣  | 2019年<br>5月～10月 |

### (3) インターンシップ

当年度設定したインターンシップの受け入れ先は下表のとおりです

| 受入先企業名（敬称略・順不同）  |
|--|
| カシヨ株式会社／株式会社日商印刷／株式会社ながのアド・ビューロ／藤原印刷株式会社／豊野温泉りんごの湯／株式会社アドイシグロ／株式会社レック ラヴィ・ファクトリー 長野営業所／株式会社 JBN／株式会社まちなみカントリープレス／フレックスジャパン株式会社／株式会社ズズザウルス／有限会社アドフォート・トリム／クリエイティブファクト株式会社／株式会社コックス／株式会社りんごの木／未来のこどもラボ |

(4) 各種検定

当年度設定した検定の実施結果は下表のとおりです。

| 月  | 日  | 曜日 | 種類                      | 志願者 | 受験者 | 合格者(率)      | 全国平均合格率 |
|----|----|----|-------------------------|-----|-----|-------------|---------|
| 6  | 8  | 土  | レタリング検定3級               | 35  | 34  | 17(50.0%)   | 64.90%  |
| 6  | 8  | 土  | レタリング検定2級               | 2   | 2   | 2(100%)     | 27.00%  |
| 7  | 7  | 日  | ビジネス能力検定ジョブパス3級         | 41  | 39  | 39(88.6%)   | 87.1%   |
| 9  | 8  | 日  | 色彩士検定3級                 | 35  | 31  | 24(77.4%)   | 75.50%  |
| 10 | 9  | 水  | ビジネス能力検定ジョブパス3級         | 2   | 2   | 1(50.0%)    | 84.90%  |
| 10 | 20 | 土  | Illustratorクリエイター能力認定試験 | 30  | 30  | 24(80.0%)   | 70.40%  |
| 10 | 20 | 土  | Photoshopクリエイター能力認定試験   | 30  | 30  | 18(60.0%)   | 72.30%  |
| 11 | 9  | 土  | 日本語検定3級                 | 36  | 36  | 認定15(41.7%) | 40.70%  |
|    |    |    |                         |     |     | 準認定9(25.0%) | 25.30%  |
| 11 | 9  | 日  | 美術検定4級                  | 16  | 14  | 13(92.6%)   | 60.00%  |
| 11 | 12 | 火  | ビジネス能力検定ジョブパス3級         | 1   | 1   | 1(100.0%)   | 84.90%  |
| 11 | 17 | 日  | フォトマスター検定3級             | 15  | 13  | 6(46.2%)    | 83.41%  |
| 1  | 26 | 日  | 色彩士検定3級                 | 7   | 7   | 2(28.6%)    | 73.30%  |
| 1  | 26 | 日  | 色彩士検定2級                 | 2   | 2   | 1(50.0%)    | 65.40%  |

(5) クリエイティブプロジェクト

①イラコンながの！2019 当該年度は休止しました。

②クリエイティブフラッグプロジェクト

本年度の主な使用は 2019年7月「表参道夏祭り」

年度内 長野美術専門学校敷地周辺（オープンキャンパス開催時）

③未来のこどもラボ協働 ※別紙報告書参照

④美専展2020 ※別紙資料参照

### 3 入学志願者数・受験者数・合格者数等の入学試験に関する状況

| 月  | 日  | 曜日 | 試験種別       | 対象学科<br>(VD科=ビジュアルデザイン科/VA科=ビジュアル<br>アート科/PDE科=プロジェクトデザイン工科) |
|----|----|----|------------|--|
| 7  | 27 | 土  | AO選考 学習体験1 | VD科(2年制/3年制) VA科2年制  |
| 8  | 31 | 土  | AO選考 学習体験1 | VD科(2年制/3年制) VA科2年制  |
| 10 | 26 | 土  | 前期自己推薦選考   | VD科(2年制/3年制) VA科2年制  |
| 11 | 30 | 土  | 中期自己推薦選考   | VD科(2年制/3年制) VA科2年制  |
|    |    |    | 前期選考       | PDE科   |
| 12 | 21 | 土  | 後期自己推薦選考   | VD科(2年制/3年制) VA科2年制  |
| 1  | 25 | 土  | 第1回一般選考    | VD科(2年制/3年制) VA科2年制  |
| 3  | 11 | 水  | 第2回一般選考    | VD科(2年制/3年制) VA科2年制  |
|    |    |    | 中期選考       | PDE科   |
| 3  | 30 | 月  | 第3回一般選考    | VD科(2年制/3年制) VA科2年制  |
|    |    |    | 後期選考       | PDE科   |
| 4  | 4  | 土  | 追加選考       | VD科(2年制/3年制) VA科2年制 PDE科                                     |

#### 選考結果

(単位：人)

| 学科            | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 令和2年度<br>入学者数 |
|---------------|------|------|------|---------------|
| ビジュアルデザイン科2年制 | 28   | 28   | 28   | 28            |
| ビジュアルデザイン科3年制 | 2    | 2    | 2    | 2             |
| ビジュアルアート科2年制  | 13   | 13   | 13   | 13            |
| プロジェクトデザイン工科  | 0    | 0    | 0    | 0             |
| 合計            | 43   | 43   | 43   | 43            |

#### 4 卒業生数・修了者数・称号授与数等の状況

| 課 程                    | 学科名               | 4月<br>開始<br>時 | 休学 | 退学 |    | 専門<br>士称<br>号授<br>与 | 3月<br>末<br>転学<br>科 | 3月<br>末<br>在籍<br>者 |
|------------------------|-------------------|---------------|----|----|----|---------------------|--------------------|--------------------|
| 文化教養専門課程<br>(職業実践専門課程) | ビジュアルデザイン科<br>2年制 | 51            | 1  | 3  | 29 | 29                  | -3                 | 16                 |
| 文化教養専門課程               | ビジュアルデザイン<br>科3年制 | 4             | 0  | 0  | 0  | 0                   | 0                  | 4                  |
|                        | ビジュアルアート科<br>1年制  | 0             | 0  | 0  | 0  | 0                   | 0                  | 0                  |
|                        | ビジュアルアート科<br>2年制  | 25            | 1  | 3  | 10 | 10                  | +3                 | 15                 |
|                        | プロジェクトデザイ<br>ン工科  | 0             | 0  | 0  | 0  | 0                   | 0                  | 0                  |
| 合計                     |                   | 80            | 2  | 6  | 39 | 39                  |                    | 35                 |

(単位：人)

#### 5 学生の就職・進学状況

卒業生 39 名のうち、就職を希望した者は 28 名で、その内就職した者は 23 名でした。希望者に対する就職率は 82.1% です。又、進学をしたものは 1 名でした。

| 科             | 卒業生<br>数 | 就職希<br>望者数 | 内就職<br>者数 | 進学希<br>望者数 | 内進学<br>者数 |
|---------------|----------|------------|-----------|------------|-----------|
| ビジュアルデザイン科2年制 | 29       | 21         | 17        | 1          | 1         |
| ビジュアルデザイン科3年制 | 0        | 0          | 0         | 0          | 0         |
| ビジュアルアート科1年制  | 0        | 0          | 0         | 0          | 0         |
| ビジュアルアート科2年制  | 10       | 7          | 6         | 0          | 0         |
| プロジェクトデザイン工科  | 0        | 0          | 0         | 0          | 0         |
| 合 計           | 39       | 28         | 23        | 1          | 1         |
| 就職率           |          |            | 82.1%     |            |           |

(単位：人)

## 6 基幹委員会運営

### (1)自己点検・評価委員会

教職員・講師及び卒業生へのアンケートを実施し、その分析を踏まえ平成30年度における自己点検評価を行いました。

| 役職名 | 氏名    | 所属・役職 | 開催日       |
|-----|-------|-------|-----------|
| 委員長 | 小林 勝彦 | 校長    | 令和元年9月24日 |
| 委員  | 松本 直樹 | 副校長   |           |
| 委員  | 小林 理砂 | 総務長   |           |

### (2)教育課程編成委員会

専攻分野に関する企業、関係施設、関係団体等との連携による、専門分野の動向や必要となる知識・技術・技能について、本委員会にて把握・分析し、授業科目の設置や授業方法の改善策を策定することで、本校の専門課程における実践的な職業教育の教育課程の編成に反映させることを目的としています。

開催日 第1回 令和元年10月3日  
第2回 令和2年2月6日

| 役職名 | 氏名     | 選任区分         | 所 属                        |
|-----|--------|--------------|----------------------------|
|     |        | 委員会規則<br>第4条 |                            |
| 委員長 | 小林 勝彦  | 4号           | 長野美術専門学校 学校長               |
| 委員  | 辻 圭介   | 1号           | 長野県デザイン振興協会 事務局長           |
| 委員  | 轟 久志   | 1号           | 長野県デザイン振興協会 デザインPR部会長      |
| 委員  | 大久保 清一 | 3号           | 有限会社サンライズ<br>プリンティングディレクター |
| 委員  | 戸田 良久  | 3号           | 有限会社長野デザインセンター             |
| 委員  | 寺島 克己  | 3号           | クリエイティブファクト株式会社副社長         |

|    |       |    |                              |
|----|-------|----|------------------------------|
| 委員 | 本藤佳代子 | 5号 | 長野美術専門学校<br>プロジェクトデザイン工科学科長  |
| 委員 | 相澤徳行  | 5号 | 長野美術専門学校<br>ビジュアルデザイン科2年制学科長 |
| 委員 | 吉田昌司  | 5号 | 長野美術専門学校<br>ビジュアルアート科2年制学科長  |
| 委員 | 塚田佳子  | 5号 | 長野美術専門学校 キャリア指導主事            |

### (3)学校関係者評価委員会

本校と連携授業等で関係している企業や学識経験者、本校学生保護者、卒業生から選ばれた委員による学校関係者評価委員会を設置し、本校の自己点検・評価の結果が適切かどうか、またその結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか等の評価を行い、今後の学校運営改善のための参考としていきます。

開催日 令和元年11月18日

| 役職名 | 氏名   | 選任区分         | 所 属               |
|-----|------|--------------|-------------------|
|     |      | 委員会規則<br>第4条 |                   |
| 委員長 | 松井秀夫 | 1号           | NPO法人夢のデザイン塾 副理事長 |
| 委員  | 基井照明 | 2号           | 株式会社日商印刷 専務取締役    |
| 委員  | 岩崎弘明 | 2号           | 富士ゼロックス長野株式会社     |
| 委員  | 清水志保 | 4号           | 令和元年度在校生保護者       |
| 委員  | 荒井瑞貴 | 5号           | 平成18年度卒業生         |

## 7 教職員研修

本校教職員研修規則に定める教員研修は、専攻分野の専門性の学びについて、学生の就職先などの進路への通用性や分野動向への対応性及び、職業人として求められる人間力を教員自身が調べ、学び、企業等の人材需要に役立てるために企業等との連携により実践性を踏まえて行なう。また職業人育成のための教育的知識・指導力を高める目的により、本校の教育活動に適した教育理論や技術の研修を行なう。研修の取り組みにあたっては、教科運営を行なう立場から教務部署がこれらの目的を賄う成果をあげるため、教科会、主任会、職員会等に働きかけ学校全体としての活動となるよう先導するものとしています。

| 目的                 | 研修内容・テーマ   | 研修先又は講師派遣先                          | 形態          | 研修日                             |
|--------------------|--|-------------------------------------|-------------|---------------------------------|
| 指導<br>力向<br>上      | 専修学校教職員研修会   | 主催：一般社団法人埼玉県<br>専修学校各種学校協会          | 外部研修<br>会参加 | 令和元年<br>6月29日<br>7月13日<br>7月27日 |
|                    | 「地域企業から学ぶPBL（プロジ<br>ェクトベースドラーニング）のた<br>めの指導法」<br>～新規事業・商品開発におけるチ<br>ームワークとコミュニケーション～ | オリオン機械株式会社 キ<br>ャリア・コンサルタント         | 講師招聘        | 令和元年<br>11月25日<br>2部構成          |
| 技 術<br>力<br>向<br>上 | 「Dream 認定講師養成講座」   | 一般社団法人ビッグデータ<br>マーケティング教育推進協<br>会主催 | 外部研修<br>会参加 | 令和元年<br>8月26日<br>8月27日          |

## 8 付帯事業

本校に設置する付帯事業については以下のとおりです。

### (1)ながのこども美術学校

小学生の自我の確立へ向かう発達期に合わせ、バランスのとれた人間性の育成のために、美術による教育「美育」の活動を下表により行いました。又、この講座は、本校の教科科目「美術学習論実習」を選択した学生へ指導法を学ぶ授業としても設定されています。

本年度は、講師の調整ができず、幼児クラスは休講となりました。

| クラス               | 開講時間            | 開講数<br>／月 | 入校金<br>入校時<br>(1家庭) | 受講料/<br>月 | 担当講師<br>(敬称略)           | 受講者数<br>(年間のべ)<br>単位：人 |
|-------------------|-----------------|-----------|---------------------|-----------|-------------------------|------------------------|
| 幼児<br>(3～6才)      | 10:00～<br>11:30 | 2回        | 5,000円              | 3,640円    | 休講                      | 0                      |
| 小学校低学年<br>(1～3年生) | 14:00～<br>16:00 | 2回        | 5,000円              | 4,360円    | 小林 勝彦<br>鴨林 朱実<br>吉田 昌司 | 11                     |
| 小学校高学年<br>(4～6年生) | 14:00～<br>16:00 | 3回        | 5,000円              | 7,290円    |                         | 5                      |

### (2)ながのクリエイティブルーム

クラーク記念国際高等学校の技能連携校(国際高等学院長野校)のサポート室として中学校卒業者を対象として設置していましたが、本年度の在籍者は1名(休学者)で、今後の学生数の増加は見込めないと判断し、次年度以降の募集を停止します。今後のクリエイティブルームとしての方向性は一般の科目等履修生の所属先として継続します。

### (3)別 科

高等学校卒業生（高校卒業程度認定試験合格者）を対象とし、科目履修を体系的に学ぶために平成 28 年度より設置しています。当年度の在籍者は 0 名でした。

## 9 地域貢献

### (1)学べるキャリア出張講座（長野県専修学校各種学校連合会主催）

長野県専修学校各種学校連合会が専修学校・各種学校の職業教育についての経験やノウハウ、人材を生かし、小学生・中学生・高校生・一般社会人を対象に、キャリア教育・生涯学習の一端を担い、その向上に資することを目的として設置しています。本校は当年度下表のように、協力致しました。

| 月日                                | 講座テーマ          | 担当講師          | 出張先         |
|-----------------------------------|----------------|---------------|-------------|
| 令和元年 6 月 20 日 (木)                 | プロが教える！マンガ講座   | ながはり朱実<br>小林駿 | 長野市 裾花中学校   |
| 令和 2 年 3 月 17 日 (火)<br>※コロナの影響で中止 | 美術の基本からのデザイン体験 | 松本直樹<br>小林駿   | 長野県木曾青峰高等学校 |

### (2)いきいき生涯学習

長野市専修学校各種学校協会が主催する「いきいき生涯学習」に、当年度は下表のように協力致しました。

| 月日                  | 講座テーマ         | 参加者数 | 担当講師 |
|---------------------|---------------|------|------|
| 令和元年 6 月 22 日 (土)   | 木のリボンでコサージュ作り | 0 名  | 相澤徳行 |
| 令和元年 6 月 9 日 (土)    | 木のリボンでコサージュ作り | 0 名  | 相澤徳行 |
| 令和 2 年 1 月 25 日 (土) | 木のリボンでコサージュ作り | 5 名  | 相澤徳行 |
| 令和 2 年 2 月 1 日 (土)  | 木のリボンでコサージュ作り | 0 名  | 相澤徳行 |



## 10 広報・学生募集活動

令和2年度学生募集に向けて、以下のように活動致しました。

| 月 日  | 活動内容   | 備考                                    |
|------|--|---------------------------------------|
| 4月中旬 | 入学調査分析<br>昨年度学校案内希望者（令和元年度以降対象学年）へ学校案内を送付  | 株式会社応用社会心理学研究所                        |
| 4月中旬 | 高校進路指導主事宛学校案内を送付<br>高校美術担当教諭宛学校案内を送付   |                                       |
|      | 県内企業へ学校案内を送付（就職支援用）  | 北信・中信・東信・南信                           |
| 年間   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校訪問</li> <li>・ オープンキャンパス・体験授業の運営及び案内状等の制作</li> <li>・ 進学支援業者の企画による、会場形式説明会・高校内進路説明会等への参加及び広報誌媒体を中心として活動を行う</li> <li>・ 学校案内・募集要項作成及び活用</li> <li>・ ホームページ運用</li> <li>・ サテライトキャンパスを広報活動の拠点として運用</li> </ul> | 高校進路指導・美術担当教諭<br>毎月開催 対象者・高校宛DM<br>送付 |

## 11 今後の課題

少子化もさることながら、高大接続改革をはじめとする大学を中心とした「教育改革」など、教育機関を取り巻く環境は刻一刻と変化しています。こうした状況において、永年、本学が現場で培ってきた教育指針を「3つのポリシー」（ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー）としてまとめ、掲げています。これを元に、本学のアイデンティティをより確かなものにし、職業実践専門課程となったビジュアルデザイン科3年制の振興や、新たに増設したWEBメディアラインによって、学びの領域を拡充し、入学希望生への就学動機につなげていきます。さらに、従来の就学対象を超えて大学等の高等教育卒業者や社会人のための「プロジェクトデザイン工科」、及び、科目等履修制度の振興を継続。また、ビジュアルデザイン科2年制への専門実践教育給付金制度導入に向けて検討していく予定です。こうした本学の取り組みを広く周知する為にも、より広報に力を注ぎ実行していきます。

加えて、新型コロナウイルス感染症拡大による今般の動向を把握しつつ、新規広報ツールや広報チャンネルの開発はもちろん、これまでの広報方法などに固執せず、その効果を見極め、より有効な方策を模索しながら、柔軟に対応することで、さらなる入学志願者の増員を目指していきます。

### III 財務の概要

#### 1 財務概要の経年比較

| 年度       | 正味財産額（円）    |
|----------|-------------|
| 平成 27 年度 | 152,854,423 |
| 平成 28 年度 | 82,791,579  |
| 平成 29 年度 | 97,023,021  |
| 平成 30 年度 | 111,777,751 |
| 令和元年度    | 100,979,766 |

経常収支差額がマイナスになったことにより、前年度より低い結果となりました。

#### 2 当該年度の決算の概要

令和元年度の決算の特徴としては、予算より下方修正となりました。学生数の減少により、学生生徒納付金収入は前年度より 1500 万円程の減となりました。

平成 29 年新キャンパス建設にあたり、長野市の「私立学校等振興補助金」が昨年に続き 300 万円（本年度含め 3 年間に 1000 万円の補助金）交付されましたが、本年度で終了となります。

支出については、人件費は前年度より 300 万円程の減額となっていますが、予算と比べると 180 万円程の増となっています。これは年度の途中で、広報活動に関わる人員を増加したことによります。教育研究費においては、昨年度より予算を多くとったところは、賃借料と広告宣伝費です。これは、広報活動の拠点とするべく、本キャンパスとは別にサテライトキャンパスを借りたことによります。本学の教育活動をどれだけ周知できるかが、学生獲得に大きく影響するものとしての対策としました。又、クリエイティブルームやサテライトキャンパスの内装を整えるために、修繕費が予算より 270 万円程増加しています。

予算に対しての達成率で示しますと、収入では教育活動収入合計 91.02%、教育活動資金収支差額-59.69%、経常収支差額-1064.89%。支出についての達成率は人件費 95.50%、教育研究費 137.04%、管理経費 91.91%となり、次年度繰越資金の達成率は 80.20%となりました。

収入の減少と、教育研究費の膨らみにより、経常収支差額が大幅なマイナスになったことは、次年度への大きな課題であり、収入見込みに関してバランスよく計画し、実行していくことで、経常利益を黒字にしていくことが必要です。尚、当年度の大幅な支出は、広報機能を強化するための攻めの方策によるサテライトキャンパスの立ち上げにかかる費用がほとんどを占め、次年度には発生しないものです。次年度の予算計画を確実に実行することと、このサテライトキャンパスを使つての広報活動を進めることで学生数の獲得につながり、回復の見通しとなっています。

### 3 主な財務比率

事業活動収支計算書において、  
教育活動収支収入の内訳は、学生生徒納付金収入は全体の 93.89%、補助金が 5.00%となります。

教育活動収支支出の内訳は、人件費が全体の 48.83%、教育研究費が 7.36%、管理経費が 43.81%となります。

教育活動外収支の内訳は、収入では受取利息が 100%、支出では借入利息が 100%となっています。

### 4 主な施設設備の整備状況

前年度に引き続き環境の維持管理が主でしたが、サテライトキャンパスの設置にあたり、環境を整えるために、イス、机等の備品を整備し、又、卒業生・講師・地域への貢献を目的としたギャラリーを設置しました。作品の展示等を介してそれぞれとの結びつきを深めていきたいと考えています。

又、サテライトキャンパスを設置したことにより、メインキャンパスでの授業との住み分けができるため、社会人に向けた公開講座等を開講しやすくなっています。次年度もできるだけ多くの講座を開講して社会人の学び直しの機会及び地域への教育機会の提供等貢献をしていきます。